

# みんなのひろば



▲約2万本のひまわりで囲まれながらアーティストたちの歌を楽しんだ「ひまわり畑コンサート」。あいにくの天気でしたが、そんな天気を忘れさせるほどの盛り上がりを見せました。

8月17日(日)／所沢ひまわり畑 (三ヶ島)  
(撮影：市民カメラマン・三平資郎)



▲お囃子、よさこい、盆踊り、ラムネ、焼きそば、フランクフルト。「荒幡夏祭り」は、台風の影響でお囃子の山車も出ませんでした。参加した子どもたちは、年に1度の夏祭りを大いに楽しみました。

8月9日(土)／荒幡小学校・荒幡会館  
(撮影：市民カメラマン・浅見司郎)



▲夏休み中の子どもたちが、一生懸命に粘土をこねながら、カップや湯飲みを作った「なつやすみ☆子どもひろば 子ども陶芸教室」。参加した20人は、夏休みの楽しい思い出も一緒に作ることができました。

7月26日(土)／新所沢東まちづくりセンター  
(撮影：市民カメラマン・遠井洋子)



▲1,300個のキャンドルの幻想的な灯りに包まれた『ライトダウン所沢in航空公園』。参加者は、エネルギーに依存する普段の生活から離れ、淡い光のなか音楽などを友人や家族と共に楽しみました。

7月23日(木)／所沢航空記念公園噴水前広場  
(撮影：市民カメラマン・平出敏夫)

## おうちで食べよう! 所沢の学校給食

### 38 ジャージャーめん

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介します。

- ◆今回の献立
- ジャージャーめん★
- 牛乳
- ごぼうとじゃこのパリパリサラダ
- 小玉すいか



#### ★ジャージャーめん

##### 材料 (4人分)

- ・干しいたけ……………2枚
- ・ねぎ……………1本
- ・水煮たけのこ……………150g
- ・にんにく・しょうが…各1片
- ・サラダ油……………小さじ1
- ・豚ひき肉……………300g
- ・ごま油……………小さじ1
- ・水……………大さじ2
- ・片栗粉……………大さじ2
- ・テンメンジャン…100g
- ・八丁みそ……………小さじ1
- ・みそ……………小さじ2
- ・しょうゆ……………小さじ1
- ・鶏がらスープ…2カップ
- ・酒……………大さじ1
- ・砂糖……………小さじ2
- ・塩……………小さじ1/2
- ・中華めん……………4人分

#### 作り方

- ①戻した干しいたけ、ねぎ、水煮たけのこを粗みじん切りに切る。
- ②にんにく・しょうがをみじん切りにする。
- ③②の調味料をよく混ぜ合わせておく。
- ④フライパンでサラダ油を熱し、②を入れて香りがたったら豚ひき肉を炒め、色が変わったら①を加えて炒め、③を加えて煮込む。
- ⑤塩で味を調えたあと香りづけにごま油を加えて、水で溶いた片栗粉を少しずつ入れてとろみをつけて火を止める。
- ⑥中華めんをたっぷりの熱湯でゆで、ざるにとって冷水で手早く冷やして水気を切る。
- ⑦めんを皿に盛りつけ、⑤の肉みそをかけて出来上がり。

#### ここがポイント ジャージャーめん

ジャージャーめんは、中国北部の家庭料理の一つで、炸醬麵と書きます。豚ひき肉と細かく切ったたけのこ、しいたけなどを豆みそやトウチジャンで炒めて作った「ジャージャン」と呼ばれる肉みそを、ゆでた太くて平たいめんの上にのせた料理です。盛岡のじゃじゃ麺は、戦前旧満州に移住していた人が炸醬麵をもとに、戦後盛岡の人々の舌に合うように日本の食材で作ったものです。

図保健給食課 ☎2998-9249 ☎2998-9167

## はっちゃん 野老っ子



東日本大震災の復興祈念に日本の最南端・沖縄県波照間島から最北端・北海道宗谷岬まで3,052kmを111日間かけて走り抜き、道中集めた募金を被災地に届けたミュージシャン・鈴木健司さんをご紹介します。『キケンジ』という名で活動し、震災直後から音楽自粛ムードをもとめせず、仲間と共にチャリティーライブで復興支援を行って来ました。

日本縦断のきっかけは、復興支援を通じて知り合ったマラソンチームの誘いで東京都交又の100kmマラソンに出場したことが。「『がんばれ』という声援のおかげで何とか完走できました。『がんばれ』という四文字の力を思い知り、被災地のためにまだ何かできるんじゃないかと考えました。」と鈴木さん。

スポンサーになってくれたメーカーのウェアやマラソン用の足袋を身に付け、阪神大震災の被災者でもある彼女の山田安希子さんと共に『東日本大震災復興祈念 日本縦断中』と書いたのぼりを手に波照間島を平成26年3月1日に出発。「被災地で苦しんでいる人たちのことを忘れないでほしい」との願いから、各地で新聞社やラジオ局にこの活動を売り込み、被災地復興を訴えることを続けてきました。「友人知人をはじめ、すれ違った人や車から見かけてくれた人など、さまざまな人が

とすするミン掛け、アイロン掛け、まつり縫いなど、何人かの手を経て製品に仕上げられています。毎週数人の利用者さんたちも来て、布巾の型染めをしたり、スウェーデン刺しゅうを刺したり楽しんで仕事をしてくれました。利用者さんの「すまれ」が好きという声に励まされながら、私たちが手を動かして、おしゃべりを楽しんだりする良い仲間です。



## 忘れない…、そして忘れさせないために走り抜いた3,052km

ミュージシャン 鈴木 健司さん (小手指台在住)

賛同してくれ、募金を託してくれました。ラジオや新聞の記事を見てくれた人が駆けつけてくれたのは、本当に走る力になりました。」と出会った人たちの思いが集まっていきました。

一方で被災地に近づくにつれ、本当に被災者のためになっているのかという葛藤も。そんなときに宮城県で出会ったおばあちゃんから「忘れないでいてくれて、ありがとうね。」と声を掛けてくれました。「自分のやっていることは、間違っていないのだと本当にうれしくなりました。」と満面の笑みの鈴木さん。途中、岩手県釜石の祖父母を訪ねたところで山田さんと別れ、宗谷岬まで111日間を走り抜きました。

「ゴールはしましたが、ここからがスタートという気持ちが強かったです。」と集まった募金を直接自分の手で気仙沼や石巻に寄附しながら帰路につきました。

最後に「まだ苦しんでいる人がたくさんいることを忘れないでほしいです。自分の活動をきっかけに、復興支援の活動の輪が広がってくれたらうれしいです。」と話してくれました。



▲日本縦断中の鈴木さんと山田さん

## 地域の絆 やっぱり自治会・町内会でしょ! 6

ご近所同士で力を合わせ、さまざまな課題解決や地域の絆づくりを行っている自治会・町内会をご紹介します。

### 北秋津町内会

～地域を守る!北秋津防犯パトロール隊～

北秋津町内会は、所沢駅の南東に位置しています。範囲が広く、約3,000世帯が加入しており、市内でも大きな自治会の一つです。世帯数の多い町内会のため、町内を6ブロックに分け、ブロックごとに「防犯灯の管理」「文化祭」など6つの事業を担当しています。その他にも会員の要望を聞いたり、行事を円滑に運営したりするなど、細やかに活動しています。

また、ブロックの他に有志で「北秋津防犯パトロール隊」を結成しています。現在パトロール隊員として登録している106人を3グループに分け、各グループが4カ月間ずつ担当します。毎日5人～6人の隊員が不審な点はないか、壊れた防犯灯がないか見て回ります。時間と巡回場所は事前に決めず、その日担当する隊員が話し合せて決めます。こうすることで、特定の地域に偏ることなく、町内のいろいろな場所を見て回ることができ、い

つどこでパトロールしているか特定できないので、犯罪の抑止につながっています。

平成24年度には、この活動が認められ、埼玉県知事から感謝状が贈られました。25年度は343日間パトロール活動を実施し、延べ1,602人の隊員が参加しました。

この他に、町内会と民生委員が協力して、災害時の要援護希望者を調査しました。そして、これを町内会独自の名簿として作成することで、必要な情報を正しく把握し、災害時に迅速な対応ができるよう備えています。

溝口弘会長は「本当に何かがあったときに助け合うのはご近所さん同士です。」と共助の大切さを熱心に語ってくださいました。

図コミュニティ推進課 ☎2998-9083 ☎2998-9491



▲防犯パトロールの様子